

バリアフリー改修工事申告書

令和 年 月 日

(あて先) 苫小牧市長

次の家屋に係る固定資産税について、地方税法附則第15条の9及び第15条の9の2、市税条例附則第10条の3の規定の適用を受けるため、次のとおり関係書類を添付して申告します。

所有者 (納税義務者)	家屋の所在地番																
	苫小牧市										町			丁目		番地	
	住 所 (所在地)										フリガナ						
											氏 名 (名 称)						
	個人番号又は法人番号 ※右詰で御記載ください										連絡先						
											() -						

居住している方	氏 名		年 齢	歳	証居 明住 でし てい る 書 類 方 等 を	☐	運転免許証又は健康保険証	
	☐	6 5 歳以上の方				☐	介護保険被保険者証 (裏面に要介護・要 支援と記載のあるもの)	
	☐	要介護認定又は要支援認定を受けている方				☐	障害者手帳	
	☐	障がいのある方						
バリアフリー 改修工事済住宅	家屋番号		種類		床面積 (居住面積)			
		☐	専用住宅		m ² () m ²			
		☐	共同住宅					
		☐	併用住宅					
	当初建築年月日		昭和・平成		年	月	日	(新築されてから10年以上 経過した住宅であること)
	登記年月日		昭和・平成・令和		年	月	日	
	改修工事内容		☐ ①廊下の拡幅			☐ ②階段の勾配の緩和		
			☐ ③浴室改良			☐ ④便所改良		
		☐ ⑤手すりの設置			☐ ⑥屋内の段差の解消			
		☐ ⑦引き戸への取替え工事			☐ ⑧床表面の滑り止め化			
改修工事費用		円			(補助金等、介護保険等補助制度利用額を除き50万円超であること。)			
(上記のうち補助金等、介護保険等補助制度利用額)		円						
改修工事完了年月日 令和 年 月 日 完了								
(令和6年4月1日から令和8年3月31日の間であること)								
工事完了を確認 できる書類等	☐ 工事明細書		☐ 工事領収書		☐ 工事写真			
		☐ 工事証明書						
工事終了後3ヶ月以 内に申告ができな かった場合の理由								
備 考								

※ 以下は記入しないでください。

確 認 事 項	① 要件該当人が入居している	該 当	・ 非該当	判 定 結 果			
	② 新築された日から10年以上を経過した住宅	該 当	・ 非該当				該 当 ・ 非該当
	③ 当該家屋の床面積50㎡以上280㎡以下	該 当	・ 非該当	減 額 年 度			
	④ 工事内容・工事費用など	該 当	・ 非該当		☐ 令和7年		
	⑤ 工事完了年月日	該 当	・ 非該当	☐ 令和8年			
	⑥ 期限後申告の理由	該 当	・ 不 当		合 議		
	⑦ 補助金等又は介護保険等補助制度	利用あり	・ 利用なし	土地係			
	⑧ 家屋調査日 令和 年 月 日	適	・ 不 適				
減額固定資産税額		決	年月日	課 長	係 長	主 査	係
円		裁	・				

※ 標記の申告書に基づき判定した結果、該当となるため、上記のとおり減額してよろしいか。